

生活道路の安全対策に関するアンケートのお願い

平成30年9月20日
所沢松が丘自治会
道路対策委員会

日頃より自治会活動、運営につきましてご理解を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、私たちの生活道路の安全についてのアンケートにご協力をお願いします。

■背景

全国的に交通死亡事故が減少しつつも、埼玉県では交通死亡事故が多発、全国ワースト3になっており
所沢市においては、すでに**7人の方が亡くなられて**おります。これは県内市区町村において**ワースト1**になっております。
松が丘地域においても例外ではない問題であると考えます。

今の問題

1. 松が丘地域内は生活道路でありながら、**40km/hの速度制限**（生活道路：通常は30km/h制限）
2. 松が丘中央通りでは速度制限が40km/hの速度制限であるが、**明らかな速度超過車両が見られる**。
3. 車両の衝突速度が30km/hを越えると30km/h以下に対して致死率が**4倍**に増加。
4. 生活道路の**事故件数**は死傷事故では**小学生**、死亡事故では**75歳以上が高い**

+ さらに…

将来の懸念

1. 所沢駅西口再開発によって大型商業施設の建設を計画
2. 国道463号線バイパス(飯能所沢線)の延伸開通（3万台の通行量/1日）
3. 上記理由により、**松が丘地域の道路が抜け道となり、車両交通量**がさらに高まる
4. **車両通行量増大**により、**交通事故の増加、渋滞の発生、バスの遅延**と、生活への悪影響を及ぼす

松が丘周辺の交通量増加により、「私たちの生活道路の安全」が、さらに脅かされる。

このような状況を受け、「安全で安心して暮らせるまち」を目指して松が丘自治会では今年5月の定期総会で
新たなる道路安全対策に取り組むことが承認されたのを受け自治会内に**道路対策委員会が発足しました**。

■これまでの道路対策委員会の活動

1. 松が丘自治会では、過去、道路問題に対してどのような取り組みが行われてきたかを整理
2. 国土交通省道路局から安全対策の情報入手と聴き取り
3. 埼玉大学の道路対策専門家から、具体的な道路対策の事例聴き取り
4. 道路管理者である所沢市道路維持課との意見交換
5. 所沢警察署交通規制課との意見交換

そこで自治会では、生活道路の安全を守るためには利用者である、住民の皆さまの声をきちんと反映されなければならない
と考えて、松が丘の生活道路の現状と将来について、どう受け取り、どのような対策が必要であると考えているのか、住民の
皆さまの声をお伺いすることになりました。

趣旨をご理解いただき、無記名アンケート調査にご協力お願い申し上げます。

別紙アンケートにご記入の上、封筒に入れ、**9月30日まで**に班長さんに提出してください。
(班長は10月2日までにブロック長へ、ブロック長は10月4日までに**広報担当**へ提出)

問い合わせ先

松山 正文 (〇〇〇〇〇)

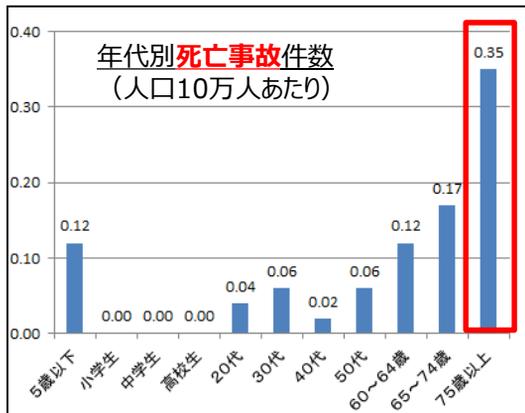
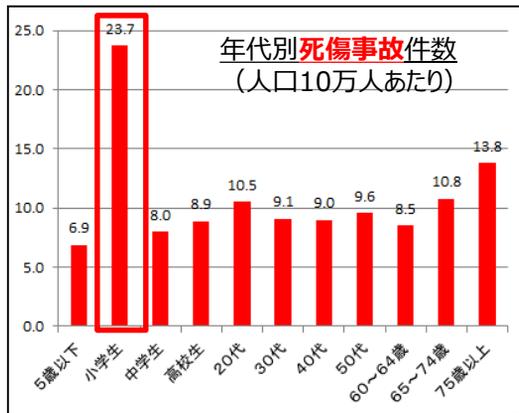
齋藤 宏保 (〇〇〇〇〇)

狩野 和央 (〇〇〇〇〇)

松岡 庸介 (〇〇〇〇〇)

生活道路における交通事故の現状

生活道路の人口あたりの事故件数は、**死傷事故件数では小学生、死亡事故件数では75歳以上**が高い



ハンプ° (凸部) とは？

ハンプとは、交通安全対策のために、道路の路面に設けられた凸状の部分のことです。通過する車両を一時的に押し上げるもので、事前にこれを見たドライバーが速度を落とすことをねらっています。自動車を減速させて歩行者・自転車の安全な通行を確保することを目的に設置します。

■ ハンプ運用事例



■ スムース横断歩道



(横断歩道部分が凸部となっている)

衝突速度が30kmを超えると致死率が急上昇する

20~30km/h

0.37

約4分の1

30km/h超

1.56

■ 縦断面図



カラー舗装 (イメージハンプ) とは？

道路の路面に、舗装の色や材料を一部分だけ変え、凹凸があるように見せかけたものです。視覚的にドライバーに注意をうながし、自動車の速度を落とすことをねらっています。

実証試験は1996年に吹田市と豊中市で実施しました。その結果、車速はおよそ10km/hダウンし、交通事故を40%減らす効果が認められました

